

## 令和元年度南予地方局予算の実施状況（R2. 2. 29 現在）

- 1 予算事項名 高級菓子用くだもの育成・ブランド開発事業費  
 2 事業期間 令和元年度～令和3年度  
 3 所 管 産業経済部産業振興課地域農業育成室  
 4 事業概要

管内3市町とJAえひめ南は、(株)源吉兆庵と農林水産物の生産及び安定供給に関する協定を締結(H26.10)し、H30.2月に(株)源吉兆庵愛媛宇和島工場が竣工稼働した。

そのため安定した原料供給を通じて(株)源吉兆庵とこれまで以上に連携を深めるとともに、栽培品種の複数化等による農家の経営改善、加工用品だけでなく生食品の販売戦略検討による宇和島ブランドの創造を図る。

	令和元年度
予算額	1,100千円

### 5 事業内容

- (1)「源吉兆庵ファクトリーブランド促進協議会」の設立（設立日 令和元年5月9日）  
 （予算額 ゼロ予算）



- 開催日 5月9日、8月1日、11月19日、2月27日
- 場 所 南予地方局
- 目 的 (株)源吉兆庵へ果実の安定した供給体制を図るために宇和島地区は「かき・びわ」、鬼北地区は「もも・くり」としていたが、管内全域で情報共有や課題解決を図る取り組みを進める。
- 内 容 ・各品目（かき、びわ、もも、くり）の生産状況と今後の取り組み方針等について協議  
 ・生産拡大への県事業の紹介等
- 構成員 県・管内3市町（宇和島市・松野町・鬼北町）・JAえひめ南及び(株)源吉兆庵で組織する。

- (2) 高級菓子用くだもの生産コスト低減・高収量安定生産技術の開発と推進（予算額 429千円）

#### ① ももの加工用栽培品種の複数化（清水白桃+大久保 生産への取組み）



- 「清水白桃+大久保」の複数品種栽培を進めた。
- 7月、松野町で出荷基準について講習会を開催。
- 2月、加工用ももと生食用ももの複数品種栽培の推進及び安定生産に向けた剪定を指導。
- 今年度供給量 6t（前年対比 143%）

#### ② くりのカットバック剪定による低樹高と大玉生産の推進



- 8月、出荷講習
- 1～2月、剪定講習  
 樹を切り戻すカットバックせん定により、低樹高化(2.5m程度)の拡大及び大玉生産(2L果以上)を推進。
- 低樹高栽培の実証圃を設置し、効果の実証と技術を普及。
- 今年度供給量 17t（前年対比 138%）

### ③ びわの新規入植者の定着



○令和元年度に三浦地区のびわ園に新規入植した3人の生産者に安定生産に向けた基本技術を指導。

○5月、収穫・出荷の要領（果実の大きさや色等）を指導。

○8月に剪定、枝の誘引、12月に摘房・摘蕾、2月に摘果・袋掛けを指導。

○今年度供給量 3.5 t（前年対比 700%）

### ④ かきの最適収穫時期実証・低樹高技術の普及



○講習会や実証圃により、果実肥大、着色、条紋発生等を考慮した収穫適期の判定や低樹高（2.0m程度）を想定した栽培技術の実証を図った。

○生産者に対し、6月摘果方法、9月に出荷方法、12月に剪定で低樹高化への取組みを指導した。

○9月には果実の軟化対策として追熟効果の試験を実施。

○今年度供給量 3.6 t（前年対比 157%）

### (3) 高級菓子用くだもの育成及び開発（予算額 184 千円）

#### ①くり 吉兆庵向け専用品種（青木1号）の育成

#### ②かき 柿の用途別品種の選定

（株）源吉兆庵宇和島工場に加工用くだものを安定的に供給するため、新たな「くり・かき」の品種について品質や加工適性を把握するための実証圃を設置。

○設置期間：令和元年7月1日～令和元年11月30日

○課題名と結果

くり「青木1号」の生育と品質など加工用適性の調査

（結果）果実は他の品種と比べてやや小さく、果肉は淡黄色・粘質系で、やや色が薄かった。

かき「葉隠」の生育と品質など加工用適性の調査

（結果）「市田柿」に比べ「葉隠」は11月下旬でも軟化はなかったが、糖度がやや低かった。

### (4) 地域農産物のグローバル販売戦略検討（予算額 277 千円）

#### ①吉兆庵販路を利用した「菓子用くだもの加工品」及び「地域特産農産物（生食用）」の販売促進

（株）源吉兆庵の店舗の一つ 京阪百貨店内にある宇和島ファクトリー店でびわ・くりのコンポートを宇和島フルーツファクトリーブランドで販売中。

ブラッドオレンジの生果はじめ地元農産物（河内晩柑・茶・ユズ等）の販売を提案。



### (5) 新たな用途開発（予算額 210 千円）



#### ①加工品等の開発

○源吉兆庵に出荷できない規格外品について、新たな用途として加工品等を開発。

○産業技術研究所等と連携し、規格外品を活用した新たな加工品について検討し、地元加工業者での商品化を目指す。

○くりで県外産、地元産3品種のペースト加工による比較や試食を実施。